

事務事業名		ジョブカフェ気仙支援事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業									
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目									
	施策名	24 雇用の創出と安定					会計	款	項	目	事業					
	基本事業名	02 雇用の拡大と企業誘致の推進			☐ 単年度のみ		01	05	01	01	12					
所 属	根拠法令				☒ 単年度繰返 (開始 平成18 年度～)											
	部課名	商工観光部商工観光物産課			☐ 期間限定複数年度 【計画期間】											
	係 名	労政係	電話 内線	27-3111 113	年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入											
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)											全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
県、気仙2市1町、商工会議所等の共同で設置した就職支援サポートセンターである「ジョブカフェ気仙」に従事する緊急雇用臨時職員を配置する。 (短時間勤務臨時職員の勤務時間) 10:00～16:45、1日6時間、週5日 (短時間勤務臨時職員の職務内容) 来所者の受付。(業務内容の説明、受付簿への記入等)、パソコン利用者への操作指導。(求人検索、e-ラーニング等操作補助の必要な方へ) データ管理。(毎日の受付件数等をパソコンで行い、統計処理する) 主な業務は、①履歴書により書類選考、②毎月の賃金、共済費支出 事業費は、短時間勤務臨時職員の賃金、共済費に支出される。											総 投 入 量 (千 円)	事 業 費	財 源 内 訳	国庫支出金		
														都道府県支出金		
														地方債		
														その他		
														一般財源		
														事業費計 (A)		0
人 件 費	正規職員従事人数															
	延べ業務時間															
	人件費計 (B)		0													
	トータルコスト(A)+(B)		0													

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段 (主な活動)		名称 単位	
前年度実績 (前年度に行った主な活動)		ア 書類選考日数 日	
総務課が一括して公共職業安定所への求人票を提出し、応募のあった者の中から、書類選考により決定。毎月の賃金、共済費 (事業主負担分) の支払い		イ 賃金、共済費の支払い回数 回	
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)		ウ	
平成21年度と同様。			
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		(6) 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
・ジョブカフェ気仙の利用者 (求職者、就業者)		名称 単位	
・ジョブカフェ気仙スタッフ		カ ジョブカフェ気仙来所者数 人	
		キ ジョブカフェ気仙スタッフ 人	
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		ク	
・スムーズに情報を得ることができる。		(7) 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
・カウンセリングや各種セミナー等の仕事に専念することができる。		名称 単位	
④ 結果 (基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		サ カウンセリング件数 件	
就労の場が確保される。		シ 企業訪問、学校訪問件数 件	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (目標)
			単位						
投入量	事業費	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円						
		一般財源	千 円		1,636	1,536	2,682	2,682	2,180
	事業費計 (A)		千 円	0	1,636	1,536	2,682	2,682	2,180
	人件費	正規職員従事人数	人		1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時 間		12	10	10	10	10
		人件費計 (B)	千 円	0	48	40	40	40	40
		トータルコスト(A)+(B)		千 円	0	1,684	1,576	2,722	2,722
⑤活動指標	ア	日		3	3	3	3	3	
	イ	回		12	12	12	12	12	
	ウ								
⑥対象指標	カ	人		2,358	1,851	1400	1308	1039	
	キ	人		5	6	7	7	7	
	ク								
⑦成果指標	サ	件		714	400	300	346	410	
	シ	件		385	452	440	538	431	
	ス								

事務事業ID	1207	事務事業名	ジョブカフェ気仙支援事業
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

平成17年6月、ジョブカフェいわて気仙サテライトの設置を岩手県に要望した際、県側から示された条件として、市正規職員の配置が示された。開設から現在まで、臨時職員で対応している。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

ジョブカフェ気仙が開設された平成17年6月6日～平成17年9月25日までは、当課の担当職員2名が交替で、ジョブカフェ気仙に勤務していた。平成17年9月26日からは、受付事務員として臨時職員を配置しており、現在まで特に変わりはない。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

県からは、受付職員として臨時職員を置くことはやぶさかではないが、地域で運営するということで開設したジョブカフェ気仙であることから、正職員の配置を求められている。

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒ [その内容] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ [理由] 類似事業はないため、手段はない。 ☒ 他に手段がない ⇒ [理由]
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？

事務事業ID	1207	事務事業名	ジョブカフェ気仙支援事業
--------	------	-------	--------------

3 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果（2枚目と整合を図ること） <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括（振り返り、反省点） 受付業務のみならず、スタッフの業務をカバーしている。 このことから、来年度以降も継続して設置する。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性（改革改善案）・・・複数選択可（ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可） ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善（ ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善 ） （上記方向性に対する具体的な内容） 国のジョブカフェ事業は平成18年度で終了した。さらに、平成20年度の県の予算額は前年度の7割となり、平成19年度まで高校に配置されていた就職支援相談員は廃止され（県教委予算）、高校支援業務をジョブカフェスタッフが担うことになった。平成21年度も同様の形態で運営されていく予定となっている。こうした中で、ジョブカフェ気仙は、地域主体で残すべきものとしているので、サービス低下をまねかないよう、従来どおりとする。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 																							

（職 名） ※原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者 商工観光物産課長

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準（1次評価の記述内容を読んだ段階で選択）
- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている
- ② 評価の客観性水準（2次評価を行った後に総合的に判断して選択）
- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている（事務事業の問題点、課題が認識されていない）
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている（事務事業の問題点、課題が認識されている）

(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 事業の意図等が的確に把握されており、適切な評価となっている。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性（改革改善案）・・・複数選択可（ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可） ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善（ ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善 ） （上記方向性に対する具体的な内容） 来所者へのサービス低下を招かないよう指導する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項